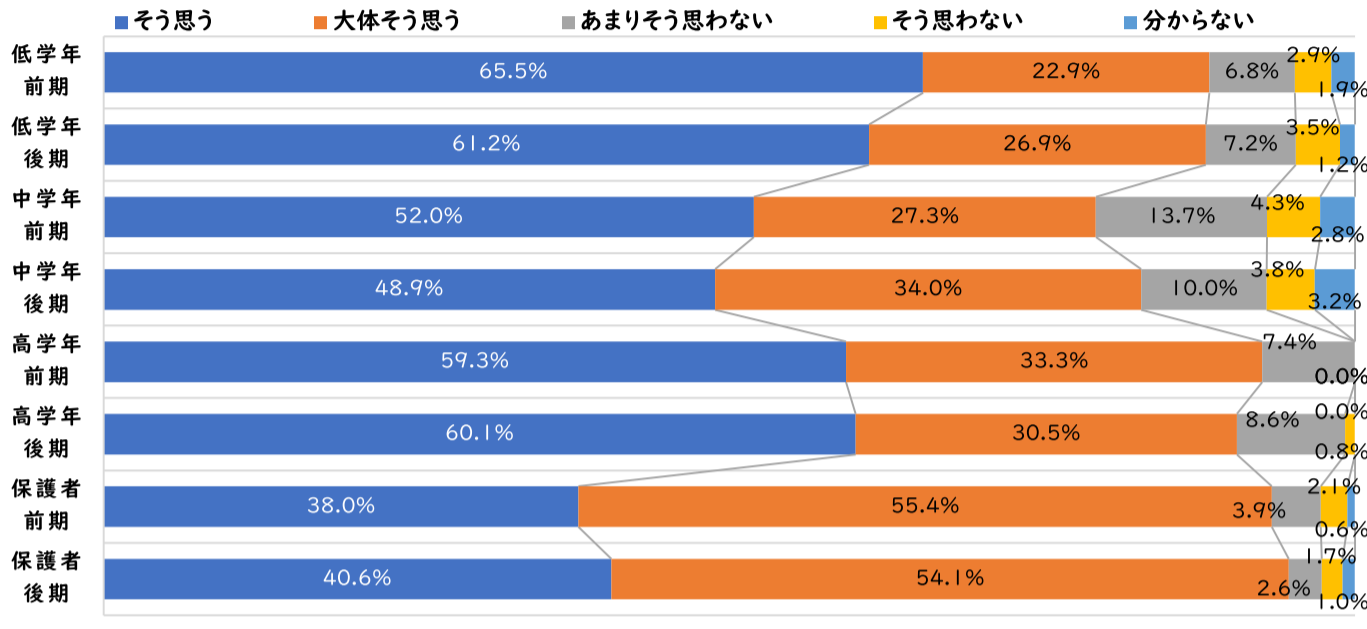




春寒の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校教育に、ご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今年度、オンラインでの第2回目学校評価アンケートを行いましたところ、快くご協力いただき、ありがとうございました。この学校評価アンケートは、児童・保護者・学校の三者で行い、年間2回実施を企画しています。今回は後期学校評価アンケートの結果をお知らせ致します。今年度は児童を低・中・高学年と3つに分け、結果をグラフと数字でお伝えさせていただきます。ご了承ください。

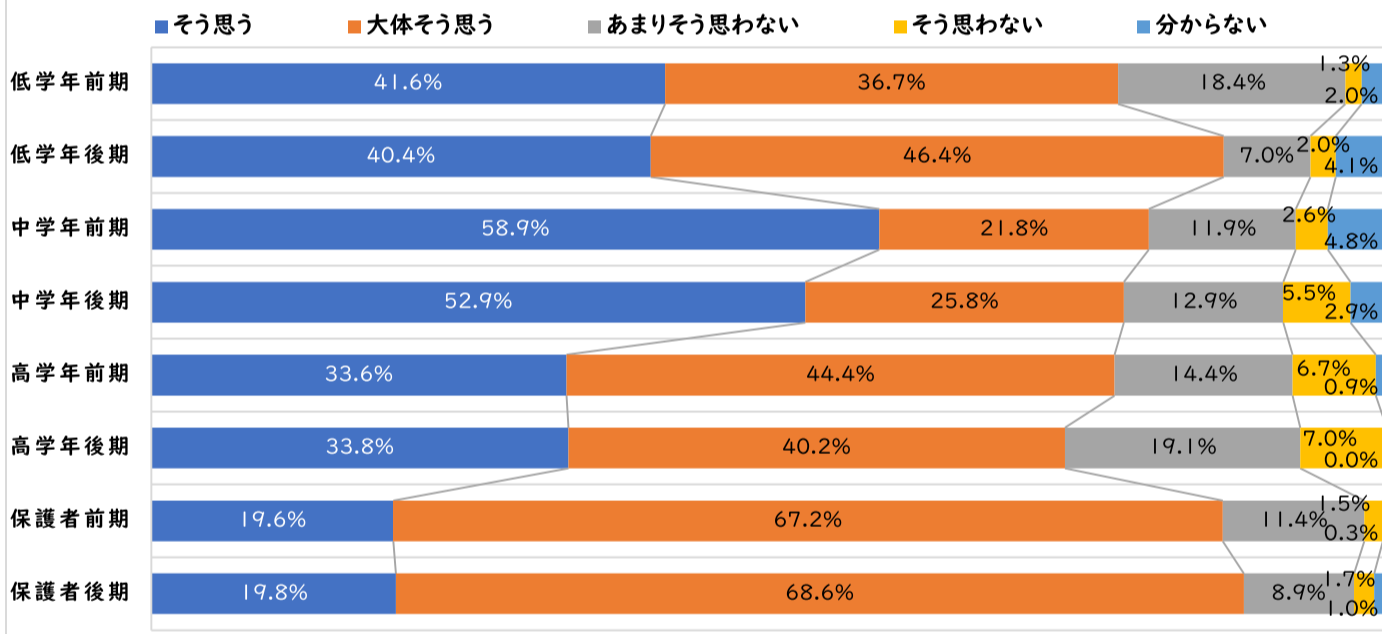
## 学校は楽しい(楽しそうにしている)



### ○学校は楽しい。

全校的に学校は楽しいと感じている割合が非常に多く、約9割の児童が「学校は楽しいと」答えています。前期と比較すると、高学年において学校が楽しいと感じている子どもたちが若干減っているものの、中学年では数値が増えています。後期は運動会や学習発表会など学校行事も多数あり、充実した学校生活を送れたからではないでしょうか。また、およそ9割の保護者の皆様からは子どもが楽しそうにしていると答えていただいています。ご家庭のお子さんとの会話や様子から学校生活を楽しく過ごしていると感じておられるのではないかと推察します。しかし、その一方で、数値としては低いものの学校が楽しいとあまり思わないと答えている児童もわずかにいます。そのことを教職員は心に留め、日々の様子をていねいに見つめていきたいと考えます。

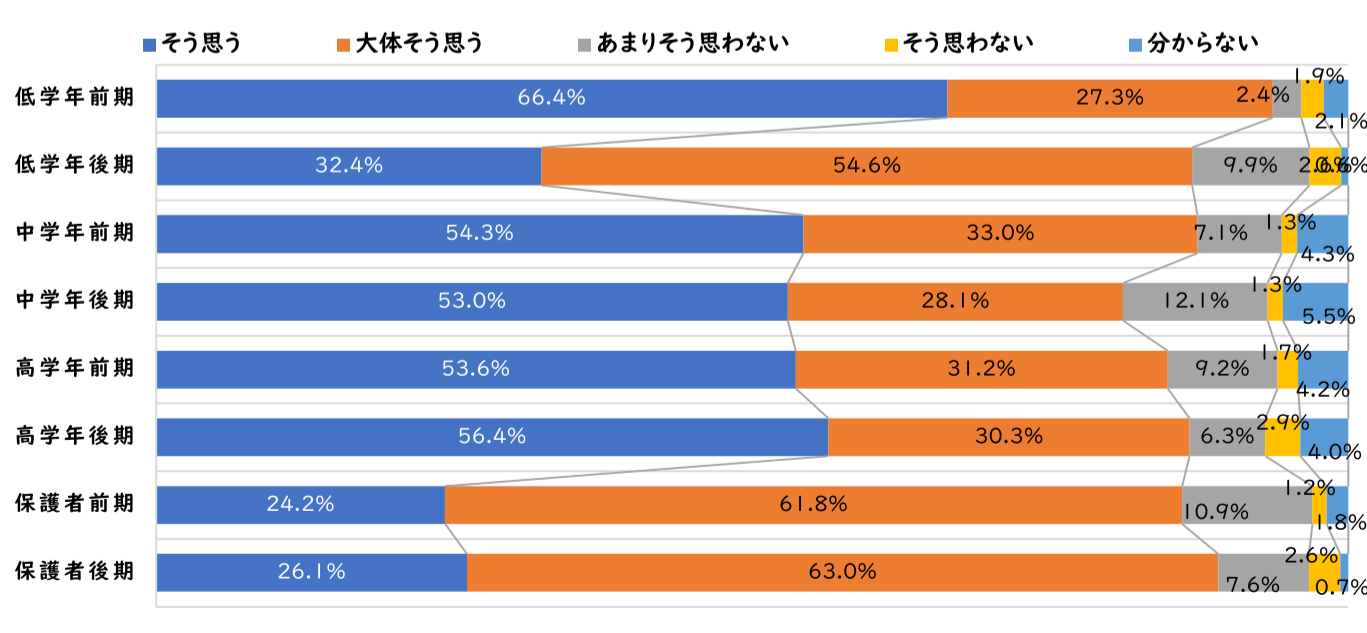
## 元気な挨拶ができています



### ○元気のよいあいさつをする。

前期の学校評価と比較すると、低学年は数値の大きな伸びが見られました。一方、中学年・高学年は数値が減少しました。学年が上がるほど恥ずかしさや忙しさで声が小さくなっているのかもしれません。今後も計画委員会によるあいさつ運動や様々なあいさつの場面づくりを続け、だれもが気持ちよくあいさつを交わせる雰囲気育てていきます。

## 困ったら相談できる人がいる

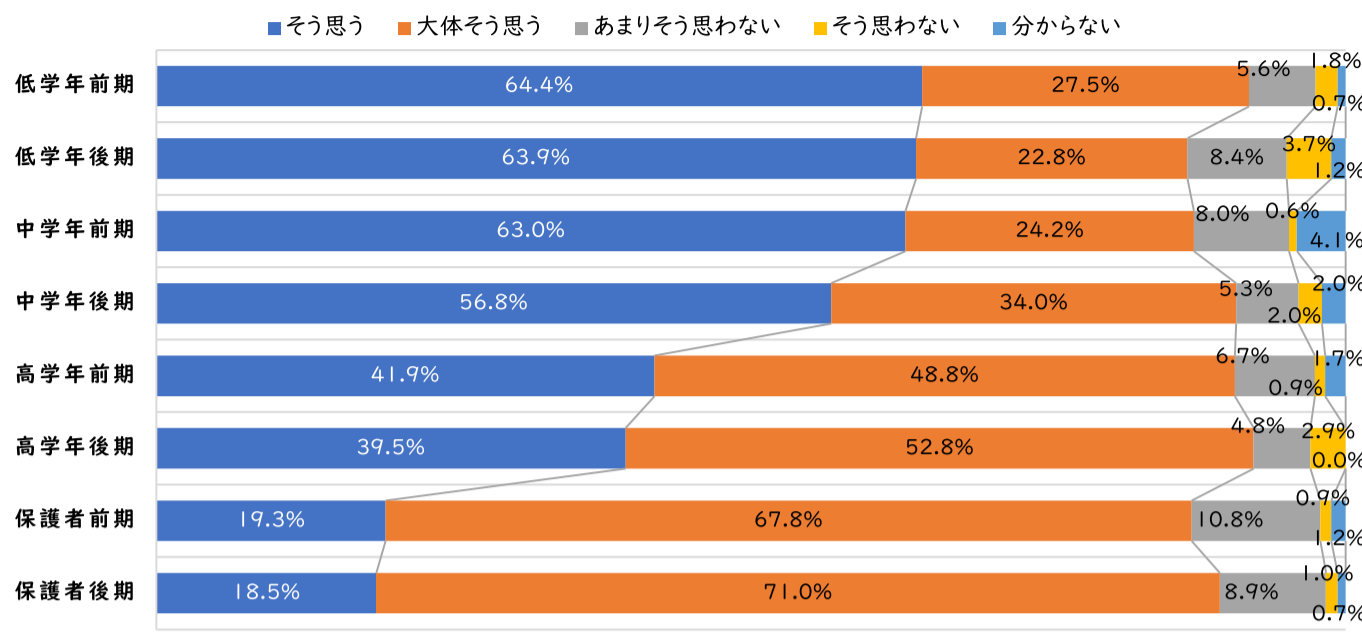


### ○困ったら、相談できる人がいる。

前期よりも高学年で相談できる人がいる「そう思う」「大体そう思う」の数値が上昇しているものの低学年・中学年では数値が下がっています。多くの子どもたちは困ったことがあると、誰かに相談できているようですが、全学年一部の子供たちは相談しにくいと感じているようです。困ったことがあれば一人で抱え込まずに、気軽に相談できる雰囲気づくり・学級づくりを心掛けていきます。



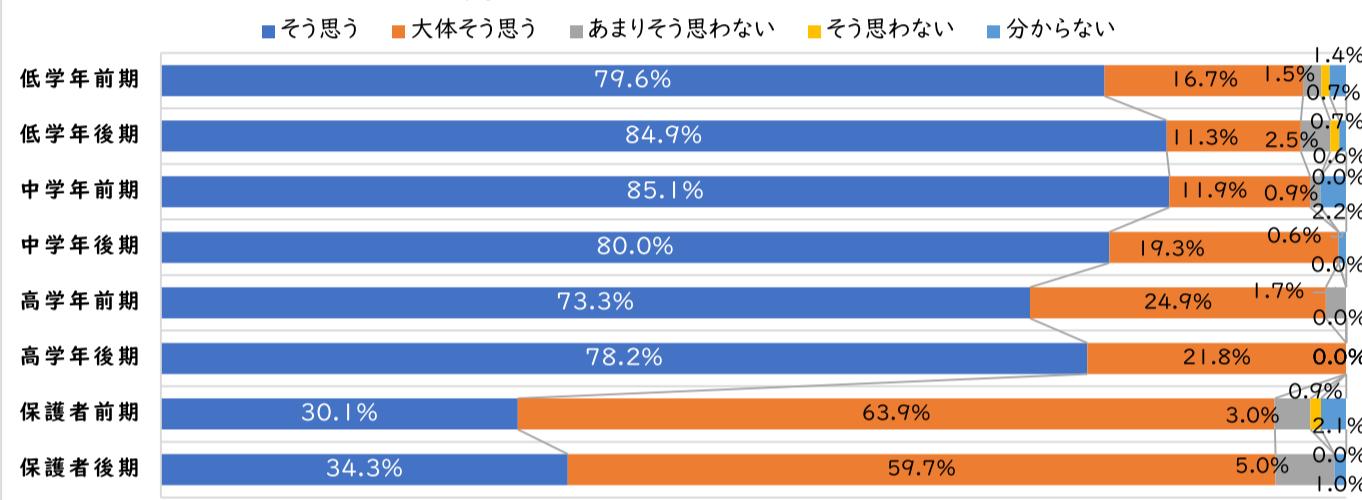
### 学校や学級のきまりを守っている



### ○学校やクラスのきまりを守っている。

前期と比較すると、中学年・高学年で「そう思う」「大体そう思う」を合わせた数値は増えているものの、低学年ではその数値が下がっています。きまりを守っているという質問に対して「そう思わない」「あまりそう思わない」と感じる低学年の子どもたちが増えています。これは活動の幅が広がりその都度都度の状況によってきまりを守れていないと感じる場面も多くなったからではないでしょうか。とはいえ、学校生活の中できまりを意識して生活することは、とても大切なことです。どんな状況・場面でも規範意識を守って行動できるよう、指導を重ねていきます。

### 友だちを大切にしている

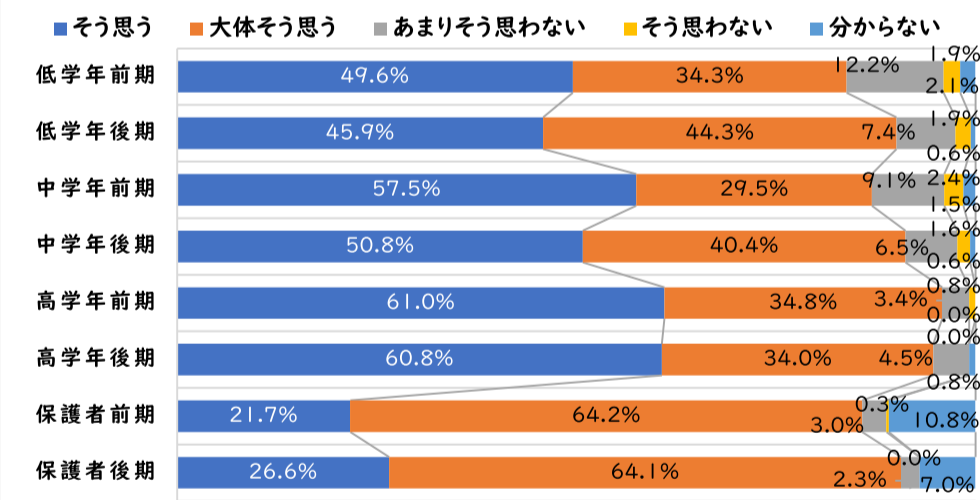


### ○友だちを大切にしている。

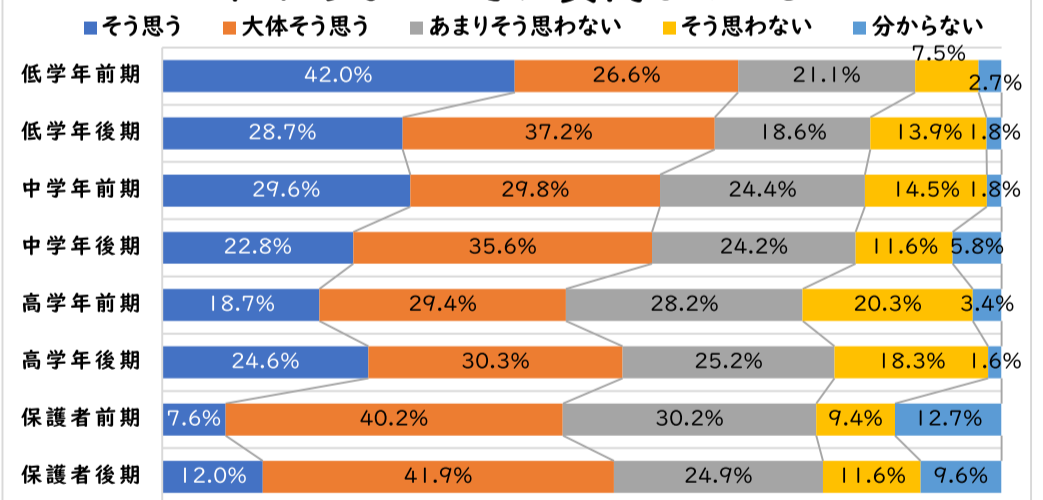
全学年で9割以上の児童が友だちを大切にしていると答えています。特に高学年は「そう思う」「大体そう思う」を合わせると100%に達しており、非常に良い人間関係が築かれていると考えられます。今後も友だちの存在を大切に、健康的な人間関係が築いていけるように取り組んでいきます。



### 授業はよくわかりますか



### わからないときは質問している

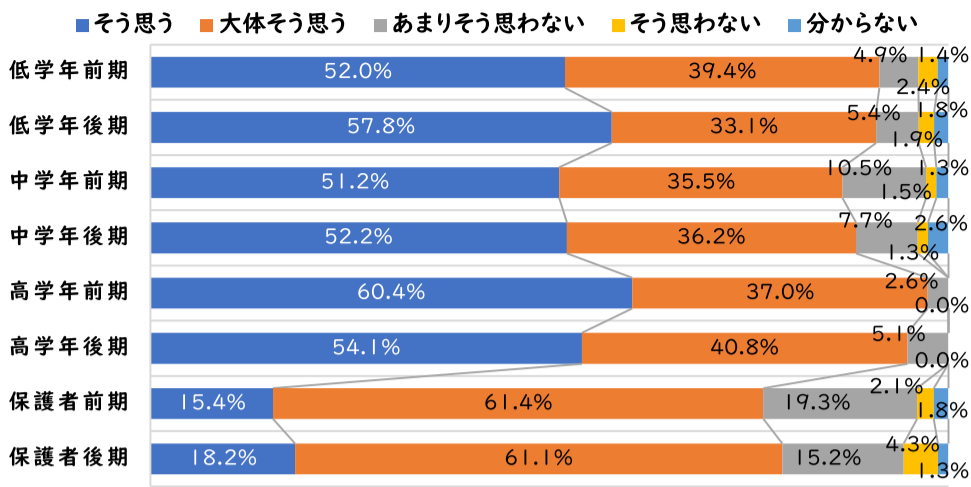


### ○授業はよくわかる。 わからないときは質問している。

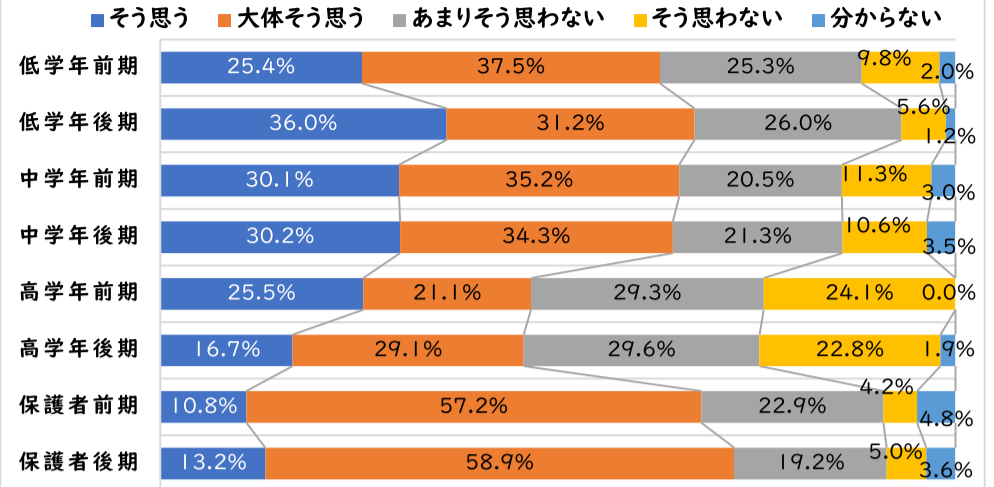
前期と比較すると、授業はよくわかりますかという問いに対して、低学年・中学年の子どもたちの「そう思う」「大体そう思う」を合わせた肯定的な数値がよくなっています。学校全体で取り組んでいる「考える力」「話し合う力」を育成するための授業改善や学習の進め方の定着、日々の学習が充実していることがうかがえます。今後も、教師として、子どもたちがわかる喜びを感じられる授業を常に意識するとともに、基礎基本の習得を徹底し、確かな学力を身に付けられるようにしていきたいと考えています。

わからないときは質問しているかどうかでは、約5~6割の児童が「そう思う」「大体そう思う」と答えていますが、「授業はよくわかる」と比較すると質問している割合は少なく、前期より低下しています。安心して質問できる雰囲気を作るなどして児童が質問しやすい授業づくりを進めていきたいと思ます。

## 授業中しっかり話を聞いている



## すすんで発表している



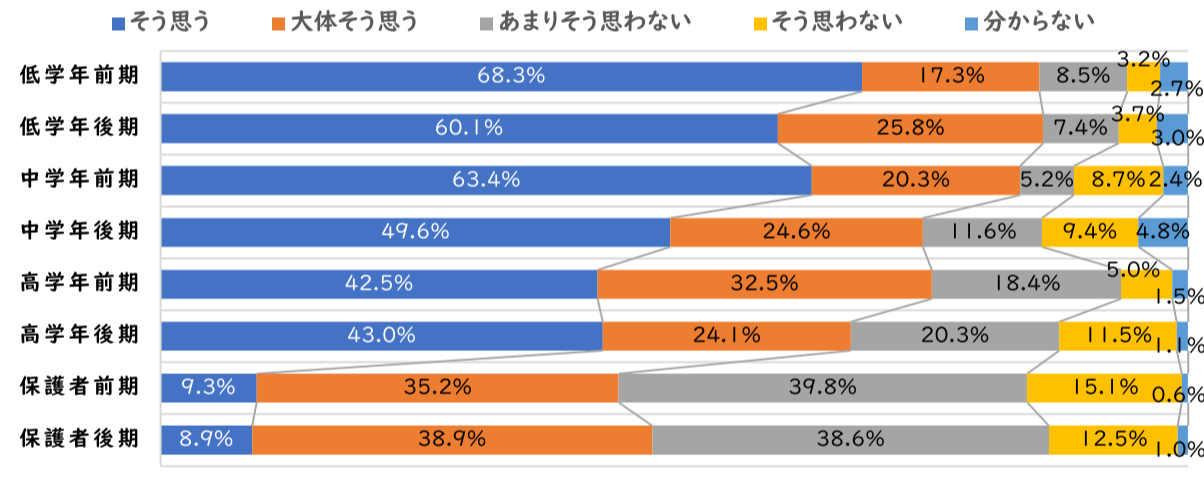
### ○人の話を聞く。進んで発表する。

学校全体では、約9割の子どもたちが授業中の「話を聞くこと」ができていると答えており、聞くことに対して高い意識を持っていることがわかります。特に中学年で数値の上昇がみられ、日々実践している「考える力」「話し合う力」の授業から「人の話を聞くこと」の良さを感じている児童が増えたのではないかと考えられます。今後も高い意識をもって人の話を聞くことができるよう継続的に取り組んでいきます。

「自分の思いを相手に伝えたり、全体場で発表をしたりすること」では、低学年において、すすんで発表していますかという問いに対して「そう思う」と答える児童が増加しています。前期より授業理解がすすみ、自信をもって発言しようとする姿が読み取れます。高学年においては「そう思う」「大体そう思う」の数値が約4割にとどまっており、未だ恥ずかしさや自信のなさが先に立っていると考えられます。発表することの良さに気づいたり、発表することが思考を進化させることに気づいたり、自分の考えに自信を持てるようにすれば児童の姿も変化するのではないかと考えています。今後も表現する力を付けられるように授業を改善し、その充実に取り組んでいきます。



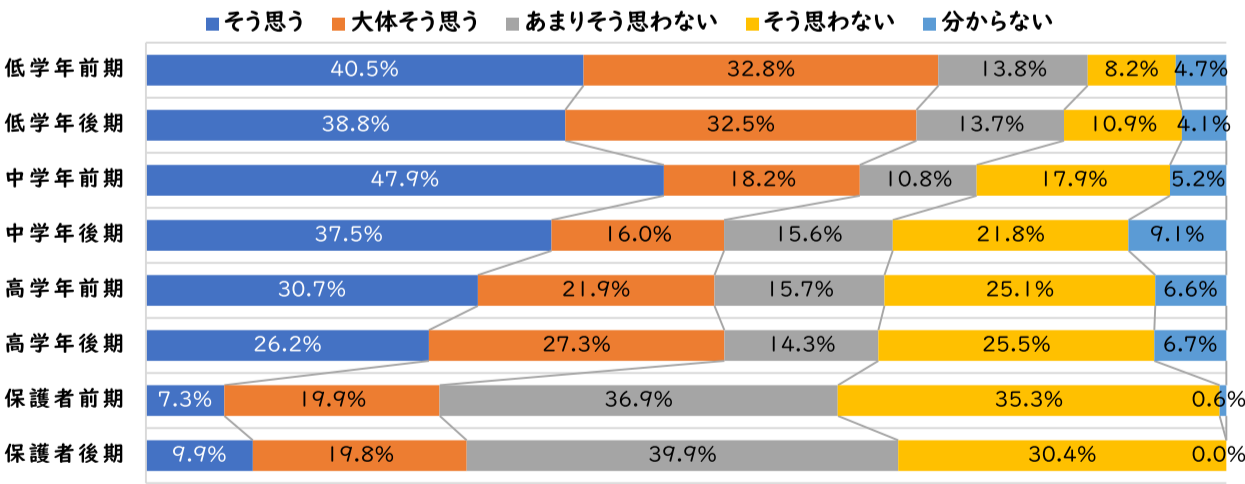
## 家で勉強している



### ○家で勉強している。

家庭学習については低学年で数値が最も高いものの、中学年・高学年になるにつれて少しずつ減り、特に中学年で前期より大きく減少しています。学年が上がるほど、習い事や宿題量、日々の予定との両立が難しい、家庭や学校以外で学習しているといった場合も考えられます。家庭学習を習慣化するために、「基本的な生活習慣」「時間を守る」「決めたことは守る」など学校でも粘り強く指導していきます。ご家庭でも引き続きご協力よろしくお願いします。

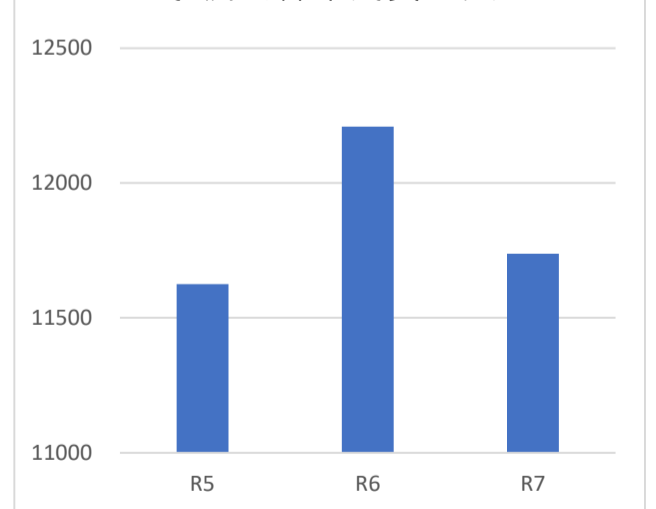
## 家で読書している

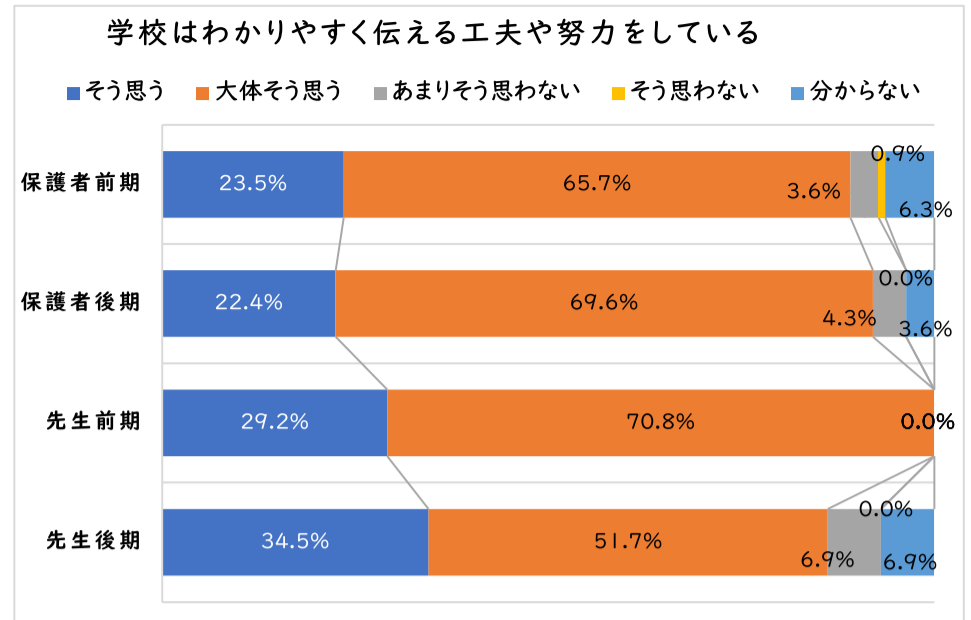
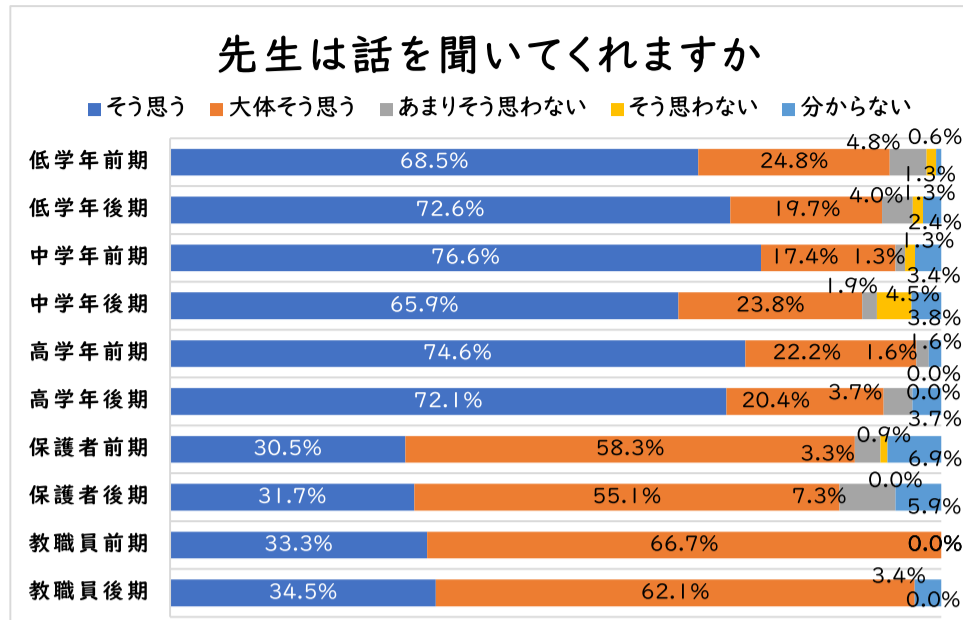


### ○家で本を読んでいる。

前期と比較すると高学年において微増が見られるものの低・中学年では数値が減少しています。特に中学年で大きく減っています。家庭での読書の習慣化という面では、まだまだ課題が多いようです。宿題や習い事、ゲーム、you tube や SNS 等の利用により毎日の過ごし方が多様になり、読書の時間をつくるのが難しくなっていると考えられます。学校でも、図書室前掲示板の工夫、新図書の増加、読書週間、たてわり読書などの取組を通して本と触れ合う機会を作ってきました。学校図書の貸出数は増えてはいるものの児童の読書の習慣化までは至っていないようです。今後も子どもたちが意欲的に読書に取り組めるように支援していきます。

## 学校図書年間貸出数





#### ○先生は話を聞いてくれる

今期の結果では、約90%以上の児童が先生は話を聞いてくれると答えてくれています。どの学年も90%以上の数値が見られることから「先生は話を聞いてくれる」という児童の安心感が見られます。今後も学校として学年に応じた声かけや相談しやすい環境づくりに努めていきたいと思えます。

### 【家庭でのよい取組やご意見・ご感想】 … 保護者記入欄からの抜粋です。

#### 挨拶・礼儀

- あいさつは目を見てする。 ●毎朝、おはようところから言い続けていたら、最近娘もおはようと返してくれるようになりました。 ●挨拶はきちんとします。
- 元気良くあいさつするように声をかけています。 ●挨拶は、自分のためにするものですよと言い聞かせている。 ●挨拶だけは毎日出来ています。
- 基本のあいさつは、朝起きてから寝るまで家族全員がしています。 ●挨拶は自分から。相手の目を見て話さないと伝わらない。
- あいさつはもちろん、ありがとう、お邪魔しますなど基本的な礼儀作法は子供のうちにできてないと大人になってもできないと考え、娘にも教えています。そのためきちんとできていると思えます。
- 元気にあいさつをし、「ありがとう」や「ごめんなさい」を大切にしよう声かけをしています。 ●自分も相手も気持ちよくなる言葉遣いを心がけています。
- 家族で、あいさつはしよう取り組んでいます。 ●あいさつのほか、いただきます!ただいま!を本人はじめ家族全員が言っている。

#### お手伝い

- お手伝い。 ●お手伝いを頑張ってくれています。 ●手伝いをよくしてくれます。 ●家の手伝いをよくしてくれています。 ●たまに手伝い。
- 金魚の水槽を洗ってくれます。 ●朝食後の後片付けや、登校前の戸締り。 ●家事全般。
- 洗濯物を畳むお手伝いをしてもらっている。 ●ご飯を炊いてもらってます。
- お手伝い、継続して頑張ってくれています。 ●洗濯物たたみ等の手伝いを毎日やってくれるようになりました。
- 夜ご飯の支度を手伝ってくれる日があります。 ●困ったときはいつも大丈夫?と手伝いに来てくれます。
- お手伝いで食器をさげる、お風呂にお湯を溜める。 ●ご飯のお手伝いやお風呂掃除など、率先してしてるのでとても助かっています
- お手伝いを自分から進んで行っています ●手伝い(お風呂洗い)。 ●手伝い(夕食の準備)。
- 食器洗い、自分の水筒にお茶をいれる、ご飯をよそうお手伝いしています。 ●お願い事も聞いて動いてくれます。
- 妹の世話など、家の中でのお手伝いを頑張っています。
- 決まったお手伝いはありませんが、自分からできることを探してやってくれているときがあります。
- 冬休み学校で出ていたお手伝いの宿題がきっかけで、家でもお願いするとちょっとしたお手伝いをしてくれるようになりました。
- 家では全然、お手伝いもせず、ゲームばかりです。



#### 生活習慣・宿題

- 早寝早起き。 ●漢字の勉強。 ●帰ってすぐに宿題を済ませる習慣が身についている。
- 自由時間と勉強時間を生活のタイムスケジュールの中に自分なりに振り分けている。個人としての生活を作り始めていて良いと思えます。
- 自分で必要な順番を考えて行動するようにしています。 ●最近は時間を見て歯磨きや寝る準備が出来る日が増えてきました。
- なかなか上手く子供の機嫌を取りながら宿題などさせるのが難しいです。



## 読書

- 読書に親しめるように、定期的に図書館に行っています。 ●毎日の自習、寝る前の読書。 ●読書と家庭学習
- 漫画でも良いので本を読むと良いと何かで見たので図書館で本を借りるようにしました。すると、気づいたら一人で本(漫画が多いですが)を読んでいることが多くなりました。
- 最近本を読むことが楽しいようです。 ●読書をよくしています。 ●図書館で子供が選んだ本以外に、親が選んだ児童書も楽しく読んでいます。
- 読書も近くの図書館へ行って借りに行ってます

## 家族とのコミュニケーション

- 家庭外での出来事をよく話してくれる。 ●ピアノの練習は自主的にしています。「教えて」と言ってくるので、よいコミュニケーションになっています。
- 友達にはしないようなあまり良くない態度は兄弟間でもしないよう心がける。 ●親子の時間をなるべく作るようにしている。(お風呂に一緒に入る。等)
- ご飯は必ず一緒に。お風呂もなるべく一緒に入って、親子で話す時間を作るようにしている。 ●兄弟で助け合う。 ●妹の面倒を進んでみてくれます。
- 妹の遊び相手をよくしています。 ●妹と協力して片付けに取り組めるようになってきました。

## その他よい取り組み

- 何事も楽しむ。 ●気遣いができる。興味がある事を携帯などで調べたりできる。 ●自分で考え、やるべきことに取り組もうとする姿が見られます。
- 何事も前向きな考えで毎日成長を感じたら、子供に伝えています。

## ご意見

- いつも丁寧に指導していただきありがとうございます。毎日楽しく学校へ行ってくれ安心しております。今後もよろしくお願いいたします。
- 放課後友人と遊ぶ際の家庭のルールを決め、守って遊んでいると思う。意見として、放課後に遊ぶ子供のボールや道具の使い方や交通ルールの指導をしてほしい。公園に行けば自転車は車道にはみ出し、車の通行の邪魔になり、車道に座り込みゲームをしたり遊んでる子供をよく見る。注意しても無視する子供もいる。ボールを公園の外から蹴り公園の敷地内に入れようとする子もおり、未就学児を連れてる家庭としては怖いバス停にもなっているので避けようが無い。検討してください。  
⇒学校内外を問わず、まわりのことも考えて迷惑がかからないように遊ぶことを子どもたちには日々指導しています。具体的事例もあげながら、今後も指導に努めてまいります。一方で、放課後の地域での子どもたちの様子は学校として把握しづらいのも事実です。学校・家庭・地域の連携や協力が不可欠です。一緒に子どもたちを見守っていただければと思います。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
- いつもありがとうございます。夏休みに提出した作品が長期間返却されなかったため12月の個人懇談で確認したところ、ホコリを被った状態で教室に置かれていました。学校として児童から提出された作品の保管や返却方法はどうか考えられているのか、担任次第なのか?疑問が残りました。ホコリが被ってしまうのならすみやかに返却をお願いしたいです。  
⇒子どもの思いが詰まった作品や成果物を教師がきちんと評価し、遅延なく適切なタイミングで返却することは学校として当然のことです。それが子どもを大切にすることでもあります。今回のようなことが二度と起こらないように、学校全体で周知徹底を図っていきます。

ご多忙の中、学校評価へのご協力ありがとうございました。

保護者の皆様には、学校行事などに来校していただき子どもたちの様子を見ていただきました。今後も、学級通信や学校ホームページなどで子どもたちの姿を通して、学校での様子を知っていただけたらと思います。これからも学校評価の内容を踏まえ、子どもたちの様子をていねいに見取りながら、保護者の皆様とともに教育活動を進めていきたいと思っております。今年度も本校教育にご理解・ご協力いただきましてありがとうございました。